



【教育目標】「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒 【重点目標】目標を持ち、最後までやり通すことができる

2学期がスタートして、まもなく一月が過ぎようとしているところ、明日から5連休シルバーウィークです。生徒には、「生徒指導だより第9号」を通して連休中の過ごし方等について事前指導しておりますがご家庭でもお子様と再度目を通していただき、事故・事件に遭わない、起こさないよう声をかけてください。

現在、学校では、9月17日付けご案内のとおり第37回文化祭に向けて生徒会、文化祭実行委員会を中心に企画等が進められています。その中で、生徒会を中心として、単に“第〇回文化祭”ではなく名称をつけたいという気運が高まり、全校アンケートを実施することとなりました。結果、校名でもある“向陽祭”が最も相応しいという意見が多数をしめ、今年度から“向陽祭”という名称で実施することになりました。この間、生徒会役員を中心に向陽中学校創立20周年・50周年記念誌をひもとき、校名や校章の由来を調べ、そこに込められた思いや願いをしっかりと受け止めていました。本校文化祭は、日頃の学習の成果を広く保護者、地域の方に発表の場となっています。併せて、PTA役員の皆様にご協力いただきPTA企画の喫茶食堂やバザーが開催されます。保護者・地域の皆様には、向陽中学校に足を運んでいただき、中学生の発表をご覧いただくとともに食堂やバザーを利用していただき秋の一日を楽しんでいただきたいと思います。



□秋の全国交通安全運動

9月21日(月)～30日(水)までの10日間、実施されます。スローガンは、“外出は 明るい笑顔と 反射材”です。夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止、特に反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底、全ての座席でシートベルトとチャイルドシートの正しい着用と徹底を行い、事故を防止します。9月30日は交通事故死ゼロを目指す日となっています。

学校でも9月17日(木)交通教室を実施し、相馬警察署員から正しい自転車の乗り方について指導いただくとともに生徒会生活安全委員会を中心に「全校生で守る交通安全18カ条」や生徒の視点から「学区の危険箇所マップづくり」に取り組みました。

例年、秋口からは日没時刻が早まり、帰宅時間と重なるため、交通事故が多発する時期です。特に、日没時刻の前後2時間は重大事故が多発する時間帯です。夕暮れ時や夜間の交通事故を防ぐには、歩行者は、外出時の明るい服装、夜光反射材の着用、懐中電灯の使用等の他、履き物や携行品へ夜光反射材を取り付けるのが有効です。自転車利用者は、早めのライト点灯を習慣づけ夜光反射材を取り付ける。自転車の点検整備を行うとともに「福島県自転車安全利用五則」を守ることが大切です。

「福島県自転車安全利用五則」

- 1 自転車は、原則車道を左側通行、歩道は例外
- 2 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
- 3 信号遵守と一旦停止・安全確認
- 4 安全ルール・マナーを守る二人乗り・並進禁止、夜間はライト点灯・反射材着装、運転中の携帯電話・ヘッドホン使用、傘さし運転の禁止
- 5 被害軽減のためのヘルメット着用

事故には「避けられる事故」と「避けられない事故」があると思います。例えば、バスや電車、飛行機に乗車中の事故は、自分ではどうしてもなく「避けられない事故」と考えます。反面、自転車に乗っていて、ヘルメットを着用していたら、自転車の反射材を付けていたら、ライトを早めに点灯していたら、車に同乗していてシートベルトをしていたら、けがや死亡することがなかった。これは「避けられる事故」です。学校では、「～していたら」を無くすよう機会を捉えて指導してまいります。

